



## 野方六月灯 にぎわい戻る

7月15日(土)、照日神社において、17回目となる「野方六月灯」が、野方六月灯実行委員会の主催で開催されました。

野方保育園、野方小学校、大崎中学校、サンセリテのがた、茶の花などから集まった灯ろう276個、ペットボトル灯ろう95個、竹灯ろう65個が境内を優しく照らしました。灯ろうの前で記念撮影する親子の姿も見られ、笑顔が溢れていました。

今年は、飲食物などの出店が7店舗立ち並び、会場はにぎわいを見せていました。

実行委員長の川原辰雄さんは「子どもたちが主役なので、子どもたちに喜んでもらえたら」と話されました。



### 絶滅危惧種のコアジサシを観察

7月12日(水)、大丸小学校の3・6年生が、横瀬海岸に飛来した絶滅危惧種に指定されている鳥「コアジサシ」の観察をしました。

児童は、日本野鳥の会かごしま県支部大隅地区幹事の前田和浩さんからコアジサシの生態や天敵の説明などを受けたあと、海岸で望遠鏡のぞきこみ観察しました。



### 小学生を対象に 租税教室を開催

次世代を担う児童に税の意味や役割について理解を深めてもらおうと、5月10日(水)、大丸小学校6年生6名を対象に、町税務課職員が「租税教室」をおこないました。この教室は、国、地方自治体などで構成する曾於地区租税教育推進協議会の主催で、毎年実施しているものです。授業では、税のしくみや税金の必要性などを話しました。

公共施設の地図記号クイズやDVDの視聴、1億円の札束見本品を手にする体験など、とてもにぎやかな講義となりました。

そのほか、5月19日(金)に菱田小学校、6月20日(火)に大崎小学校においても実施しました。

